

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	あきる野ルピア
	所在地	あきる野市秋川一丁目8番地
	所管課	教育部生涯学習スポーツ課生涯学習係
指定管理者	名称	株式会社 秋川総合開発公社
	所在地	あきる野市秋川一丁目8番地
	業務内容	①あきる野ルピア施設及び附属設備等の利用承認等に関すること。 ②あきる野ルピア施設及び附属設備等の利用に係る利用料金の徴収に関すること。 ③あきる野ルピア施設及び附属設備等の維持管理及び安全に関すること。 ④あきる野ルピア施設及び附属設備等の簡易修繕に関すること。 ⑤生涯学習事業等の実施に関すること。 ⑥その他施設及び事業の管理運営に関して、教育委員会が必要と認めること。
ホームページ URL		http://rupia.co.jp/
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日

2 施設の利用状況等について

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
開館日数(日)	357	357	357	358	357	357
利用者(来客数)数(人)	51,380	47,347	53,028	48,754	51,690	58,967
前年度比(人)		△4,033	5,681	△4,274	2,936	7,277
前年度比(%)		92.15	112.00	91.94	106.02	114.08
利用料金(売上)合計(千円)	10,749	12,334	12,541	12,904	12,215	8,335
前年度比(千円)		1,585	207	363	△689	△3,880
前年度比(%)		114.75	101.68	102.89	94.66	68.24

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
収 入	指定管理料	7,603	8,587	8,416	8,559	8,655
	利用料金	12,334	12,541	12,307	10,915	7,029
	NHK 学園他収入	9,324	2,560	1,740	2,541	4,732
	計	29,261	23,688	22,463	22,015	20,416
支 出	人件費	14,747	15,635	18,118	21,330	21,061
	維持管理経費	14,593	8,045	5,493	6,622	6,886
	計	29,340	23,680	23,611	27,952	27,947
収支合計		△79	8	△1,148	△5,937	△7,531

※23年度決算より、公社決算書との整合性を図るため、消費税を抜いた額とした。

4 施設の使用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
施設の機能を活用した催事や講座の事業を自ら展開し、適宜その参加者や講師の方に協力により、ヒヤリングやアンケートをお願いしている。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
講座などの開催案内の充実を希望する意見があり、市広報やチラシ、館内電子掲示板等を活用してその充実に努めた。また、ホールの音響設備やブラインドカーテンの不具合に対する苦情や設備の充実を求める声があり、適宜修繕を行って対応した。また、照明をもっと明るくしてほしいとの要望があったが、節電の取り組みの趣旨を説明して理解していただいた。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
ルピアの施設を利用した際にも、窓口やロビー等でコミュニケーションを図り使い勝手やスタッフ対応の状況把握に努めている。 要望の多い備品については公社で購入して貸し出している。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
極力節電に努めたため、電気使用量が前年度と同様の料金に抑えられた。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
全体的に平日昼間の利用が少ないため、ルピア塾講座（子どもからお年寄りまで楽しく気楽に参加してテーマに沿った内容で実施）として、利用者及び収入の向上に努めている。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
窓口やロビー等での施設利用者とのコミュニケーションを図るとともに、講演会の参加者や主催事業の講師などに対してアンケート調査を実施し、来場者や施設利用者のニーズに対応することで満足度の向上を図っている。また、独自のホームページを充実させるなど、リアルタイムの情報発信を行い、施設利用の促進と利用者の利便性の向上を図っている。	
経費削減の取組	
節電による経費の節減が図られているが、人件費の抑制などの課題がある。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
各種の事業の開催によって施設利用の促進が図られ、多くの利用者を獲得できているが、支出が収入を大きく上回っており、人件費の抑制など、取組の全体的な改善が課題である。	
総合評価	B

※ 評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。